# 検定による教育職員免許状申請書
# （特別支援学校教諭免許状に新教育領域の追加の定めを行う場合）
# 記入方法

山梨県教育委員会で授与された特別支援学校教諭免許状（盲・聾・養護学校教諭免許状を含む。）に単位の修得と実務経験で新教育領域の追加の定めを行う場合の記入方法です。

１　教育職員免許状授与等（検定）願

・手数料として、免許状１部につき 5,000 円分の山梨県収入証紙を貼付してください
（山梨県収入証紙は、山梨中央銀行本店・支店で購入可能です。県外在住者等で山梨県収入証紙が購入できない場合は現金（現金書留による）、普通為替証書又は及び定額小為替証書を添付してください。為替の受取人欄等は記入しないでください。）。
・本籍地は、都道府県のみ記入してください**（２、４～７も同様）**。
・氏名は、戸籍上の氏名の字体と一致してください。
・特別支援学校教諭免許状の領域は、追加で定める領域を記載してください。
・根拠法令は、教育職員免許法第６条と記入してください。

２　履歴書（各欄に書き切れない場合は２枚目を用意し、記入してください。）

・学歴は、小学校の入学時から記入し、中学校、高等学校、大学等、順次記入してください。
なお、単位の修得のみを目的として在学した大学の通信教育部についても記入してください。
・資格欄には取得した教員免許状を記入してください。
・職歴は、申請時点までの勤務について記入してください。また、学校以外の勤務についても記入してください。

３　宣誓書

・３号は、禁錮以上の刑に処せられた者。
・４号は、免許状が失効し、当該失効の日から３年を経過しない者。
・５号は、免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から３年を経過しない者。
・６号は、日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し又はこれに加入した者。
※現職教員は、提出省略可。
※４号及び５号での「３年を経過」とは懲戒免職等により免許状を失効または取上げをされた人のことを指します。

４　人物に関する証明書

・記入は学校長が行ってください**（実務、教科に関する証明書についても同様。）**。
・所轄庁の証明者は、以下のとおりとします**（実務、教科に関する証明書についても同様。）**。
大学附置の国立学校又は公立学校の教員にあってはその大学の学長
大学附置の学校以外の小・中学校・幼稚園の教員にあってはその学校を所轄する教育委員会
県立学校の教員にあっては学校長
私立学校にあってはその私立学校を設置する学校法人の理事長

５　実務に関する証明書

・勤務成績について過去の状況が判然としないときは、勤務記録等を参考にしてください。
・休職期間、産前産後休暇、育児休業期間のある者は、その期間を朱書してください。

6　教科に関する証明書
・過去３年間（本年度分は除く）に遡って記入してください。
・担任は、教科名を記入してください。
幼稚園の教員の担当クラス、小学校の教員は全教科、特別支援学校の教員は各学部に読替えて記入してください。
・総時数は、週で計算してください。

7　身体に関する証明書
・病院等で証明してもらってください。
・半年以内に発行されたものに限ります。
・職場等で健康診断を受診し、当該様式に定められたものと同等以上の内容の場合は当様式に代えることができます。

8　添付書類（①は半年以内に発行されたものに限ります。）
①　戸籍抄本
※現職教員は、提出省略可。ただし、以下の添付書類に記載されている姓名及び本籍地が現在と異なる場合は、提出してください。
②　所有する特別支援学校教諭免許状（盲・聾・養護学校教諭免許状も含む）の原本
③　学力に関する証明書（免許状申請に必要な単位修得証明書）**<u>※成績証明書ではありません。</u>**
例１　山梨県教育職員免許法認定講習の単位修得証明書の原本
例２　各大学から取り寄せた学力に関する証明書の原本

9　返信用封筒
角形２号のものに郵便番号、住所、氏名（～様）を記入し、140 円切手を貼付してください（３種類以上免許状を申請する場合は、180 円切手を貼付してください。）。

１０　書類の提出・申請受付時期について
○提出先
〒400-8504 甲府市丸の内１－６－１
山梨県教育庁義務教育課 免許助成担当

申請書類は本人の持参又は郵送により提出してください。
<u>内容について確認する場合があるため、連絡のとれる電話番号を申請書の下部余白に、必ず記入してください。</u>

○申請受付時期
受付時期は原則、４月～１２月とします。
毎年１月～３月は、各大学の一括申請対応期間のため、受付は行っていませんが、新年度から山梨県内の各学校で正規教員や期間採用教員、講師として勤務することが決まっており、免許状を有する必要がある方については、免許助成担当に事前に相談した上で提出してください。

＜申請書類記入例＞

**※山梨県教育委員会が発行した免許状のみ申請可能**

# 教育職員免許状授与等（検定）願

山梨県収入証紙

消印をしないこと

5，000円

令和　年　　月　　日

記入日

山梨県教育委員会　殿

本籍地　　山梨県

現住所　　甲府市丸の内１－１－１

自宅の住所

ふりがな　　さなだ　まさゆき

氏　名　　真田　昌幸　　印

S53 年　　12 月　　25 日生

教育職員免許法第　6　条の規定により下記の教育職員免許状の授与（新教育領域の追加の定め）について、関係書類を添えてお願いいたします。

記

１．　免許状の種類

特別支援学校教諭２種免許状

２．　教科等

知的、肢体不自由、病弱者

追加する領域を記入

職場or携帯など日中対応可能な番号

０９０－１１２３－××××

授与等願＆検定願の添付資料

# 履　歴　書

日付が細かい部分まで分からない場合は4月1日～3月31日と記入してください。

本籍地　山梨県　都道府県まで

現住所　甲府市丸の内１－６－１

氏　名　真田　信之

H1 年　9月　10日生

学　歴（小学校入学以後記入すること）

| 学校名 | 入学年月日 | 卒業（修了）年月日 | 修業年数 |
|---|---|---|---|
| 武田小学校 | H8.4.1 | H14.3.31 | 6 |
| 武田中学校 | H14.4.1 | H17.3.31 | 3 |
| 武田高校 | H17.4.1 | H20.3.31 | 3 |
| 武田大学 | H20.4.1 | H24.3.31 | 4 |
| 真田大学 | H24.4.1 | H25.3.31 | 1 |
| | | | |
| | | 計 | 17年 |

資　格（免許）

| 年月日 | 種類 | 番号 | 教科等 | 根拠規定 | 授与権者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 24・3・31 | 中学校１種 | 120 | 理科 | 第５条 | 山梨県教育委員会 |
| ・　・ | | | | | |
| ・　・ | | | | | |
| ・　・ | | | | | |

資格の情報は免許状に記載されているものを記入

職　歴

| 年月日 | 職務学校等 | 任命権者 |
|---|---|---|
| H25.4.1 | 武田中学校 | 山梨県教育委員会 |
| H29.4.1 | 私立　真田中学校 | 理事長　○○○ |
| | | |
| | | |
| | | |

学歴欄、資格欄、職歴欄が足りない場合は2枚目以降に記入してください。

上記のとおり相違ありませ

証明は申請者自身

氏名　真田　信之　印

第３号様式

# 宣　誓　書

私は教育職員免許法第５条第１項第３号、第４号、第５号及び第６号の規定に該当しないことを宣誓いたします。

書類の作成年月日を記入

年　　月　　日

氏　名　　山梨　太郎　　印

申請者の氏名の記入及び押印

検定願の添付資料

第７号様式

# 人物に関する証明書

所属長（校長等）が記入

都道府県まで

本 籍 地　　山梨県
氏　　名　　山梨　太郎
昭和45年　1月　23日生

内容は自由
簡潔な言葉でも
文章でもOK
1行でも問題ない。

| | 観察の区分 | 観　察　の　内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 性　　格 | 明るく前向きな性格である。 |
| 2 | 指　導　力 | 生徒に寄り添いながら、きめ細かな指導を行っている。 |
| 3 | 研　究　心 | 研修や研究会に積極的に参加している。 |
| 4 | 社　交　性 | 誰とでも良い関係を気付くことができる。 |
| 5 | 長　　所 | 行動力があり、課題に対し真摯に取り組むことができる。 |
| 6 | 短　　所 | 細部にこだわりすぎるあまり、作業に時間がかかるときがある。 |
| 7 | 教育職員としての適格性 | 生徒一人ひとりの特性に応じた指導を行うとともに、教員として必要な資質を備えている。 |
| 8 | そ　の　他 | |

その他については
特記事項が無ければ
空欄でOK

内容の記入は所属長
（校長等）であるが、
証明は**所轄庁**
申請者の所属が
市町村立の場合は
**市町村教育委員会**
県立の場合は**校長**
私立の場合は**理事長**
国立の場合は**学長**

上記のとおり証明します。

令和〇年　　〇月　　〇日

所轄庁　　〇〇市教育委員会　　印

検定願の添付資料

# 実務に関する証明書

都道府県まで

勤務記録カード等を参考に
所属長(校長等)が記入

本籍地　　山梨県
氏　名　　山梨　太郎
昭和45年　1月　23日生

勤務成績の記載
方法に指定は無し
例)良好　等

| 勤　務　校　名 | 職　名 | 担当教科 | 在　職　期　間 | 在職年数 | 勤 |
|---|---|---|---|---|---|
| ○○支援学校 | 教諭 | 国語 | H24.4.1～H26.3.31 | 2 | 良好 |
| ○○中学校 | 〃 | 〃 | H26.4.1～H30.3.31 | 4 | 良好 |
| ○○中学校 | 〃 | 〃 | H30.4.1～R3.3.31 | 3 | 良好 |
| | | | | | |
| 育児休業 | | | H27.4.1～H28.3.31 | 1 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

育休等の休業がある
場合は朱書きで休業
期間を記載

最近３年間の実務状況

実務状況の過去3年度に
ついて証明
育休等の休業があった
期間は実務経験から除外

| 年度勤務校<br>勤務状況 | 令和２年度<br>○○中学校 | 平成３１年度<br>○○中学校 | 平成３０年度<br>○○中学校 | |
|---|---|---|---|---|
| 出 勤 日 数 | ２２０ | ２１８ | ２２０ | |
| 傷病休暇日数 | 0 | 2 | 0 | |
| 早 退 日 数 | 0 | 0 | 0 | |
| 遅 刻 日 数 | 0 | 0 | 0 | |
| 教 育 能 力 | 授業はもちろん、生徒指導等においても能力を発揮している。 | | | |
| 研 究 態 度 | 研究熱心でありICTを活用した授業に強い関心を持っている。 | | | |
| 賞　　罰 | | | | |
| そ　の　他 | | | | |

一行程度で記載

上記のとおり教育職員として勤務したことを証明します。

令和○年　○月　○日

所轄庁　　○○市教育委員会　　印

内容の記入は所属長
(校長等)であるが、
証明は**所轄庁**
申請者の所属が
市町村立の場合は
**市町村教育委員会**
県立の場合は**校長**
私立の場合は**理事長**
国立の場合は**学長**

検定願の添付資料

第６号様式

# 教科に関する証明書

所属長(校長等)が記入

本籍地　　山梨県　都道府県まで

氏名　　山梨　太郎

昭和45年　1月　23日生

授業を担当する学年を記入

週に担当する授業のコマ数を記入

| 年度別 | 在職学校 | 全担任科目名 | | | 左の科目の総時数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成30年度 | ○○中学校 | 第１学年担任 | 第２学年担任 | 第　学年担任 | １５　時間 |
| 平成31年度 | ○○中学校 | 第　学年担任 | 第２学年担任 | 第３学年担任 | １４　時間 |
| 令和2年度 | ○○中学校 | 第１学年担任 | 第　学年担任 | 第　学年担任 | ２０　時間 |
| 年度 | | 第　学年担任 | 第　学年担任 | 第　学年担任 | 時間 |

現年度は除き過去3年度分について証明が必要年度途中の年があれば過去4年度分

| | |
|---|---|
| 出願教科についての教育成績について参考となる事項　（研究実績等） | |
| 出願教科について本人の教授能力（該当欄を○で囲むこと。） | 大いにある　人並み以上である　普通　人並みより劣る　劣る |
| その他参考事項 | |

特記事項が無ければ空欄でOK

いずれかに○

上記のとおり証明します。

令和○年　○月　○日

所轄庁

○○市教育委員会　　印

内容の記入は所属長(校長等)であるが、証明は所轄庁

申請者の所属が市町村立の場合は市町村教育委員会

県立の場合は校長

私立の場合は理事長

国立の場合は学長